

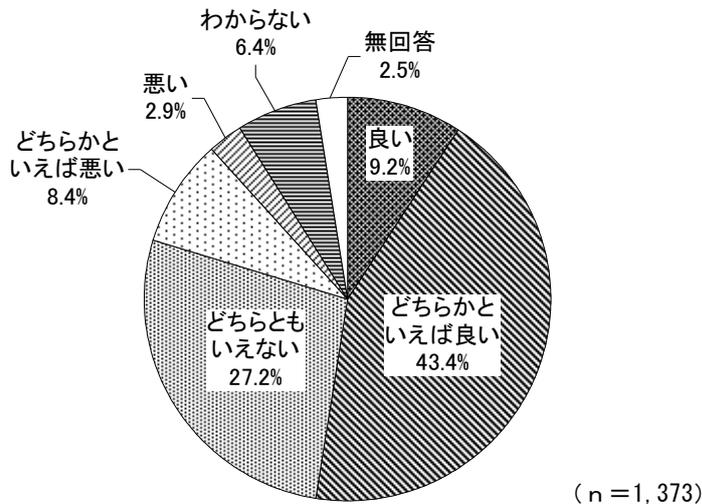
14 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況

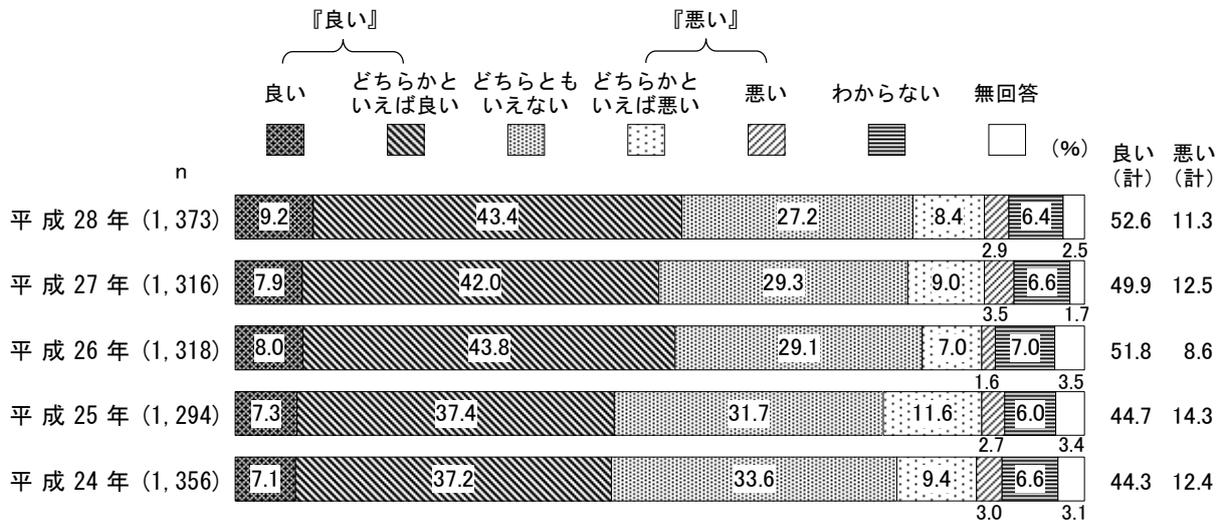
問41 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,373]

1 良い	9.2%	4 どちらかといえば悪い	8.4%
2 どちらかといえば良い	43.4%	5 悪い	2.9%
3 どちらともいえない	27.2%	6 わからない	6.4%
		(無回答)	2.5%

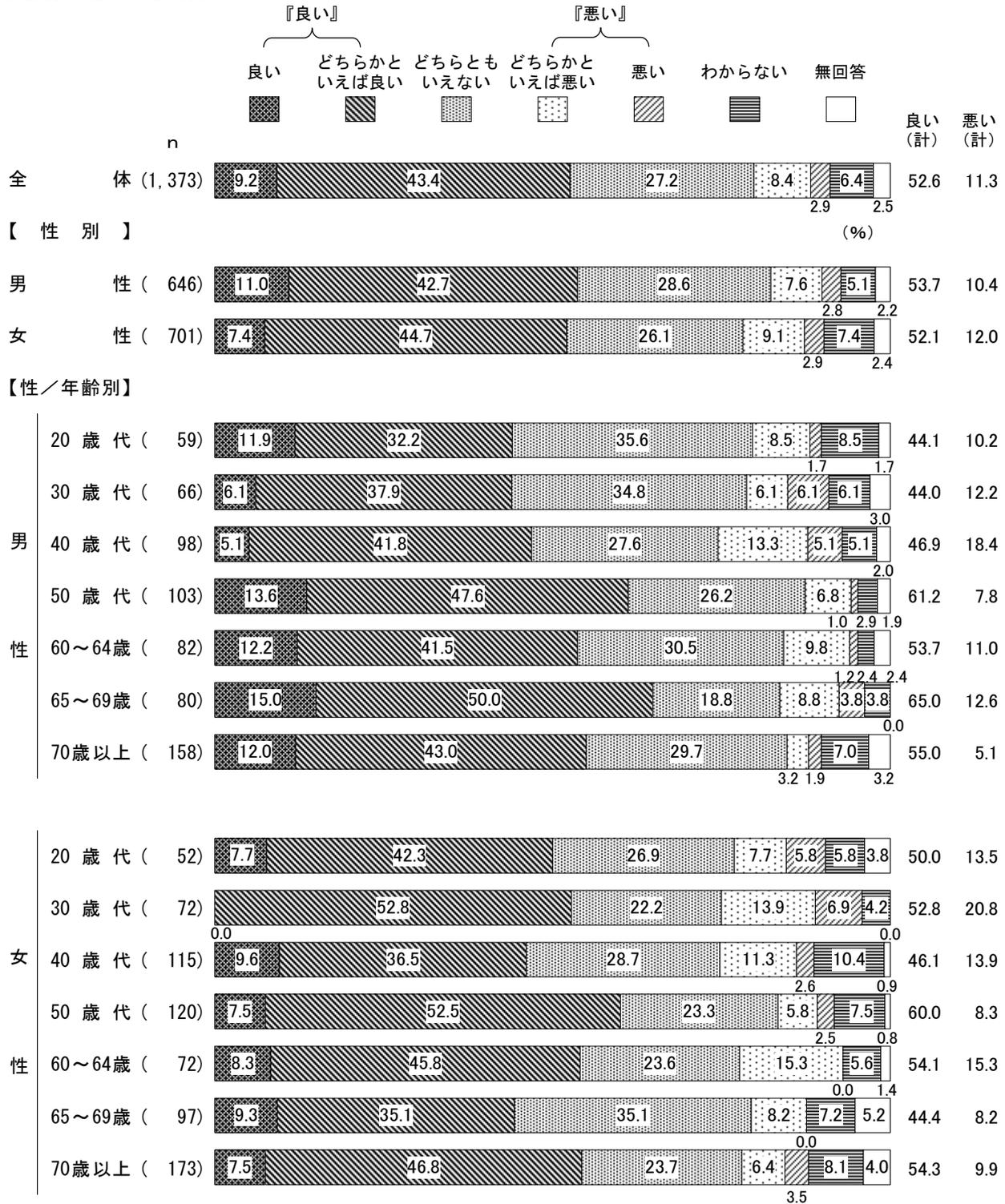


全体でみると、「良い」(9.2%)と「どちらかといえば良い」(43.4%)の2つを合わせた『良い』(52.6%)は5割を超えている。一方、「どちらかといえば悪い」(8.4%)と「悪い」(2.9%)の2つを合わせた『悪い』(11.3%)は1割を超えている。また、「どちらともいえない」(27.2%)は3割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『良い』が前回(平成27年)より2.7ポイント増加している。

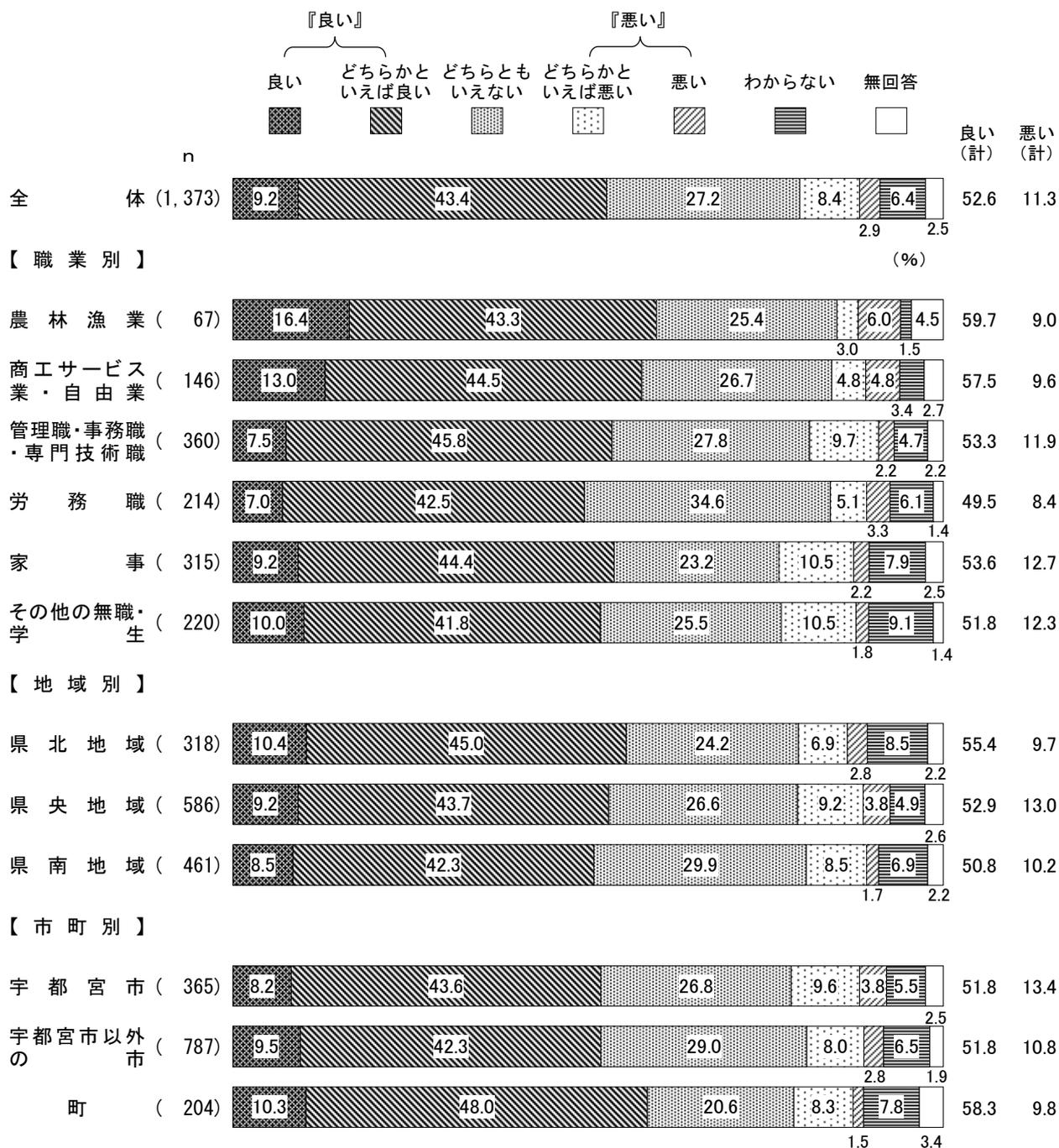
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『良い』では〈男性65~69歳〉が65.0%と高くなっている。一方、『悪い』では〈女性30歳代〉が20.8%、〈男性40歳代〉が18.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『良い』では〈農林漁業〉が59.7%と高くなっている。

地域別で見ると、『良い』では〈県北地域〉が55.4%と高くなっている。一方、『悪い』では〈県央地域〉が13.0%と高くなっている。

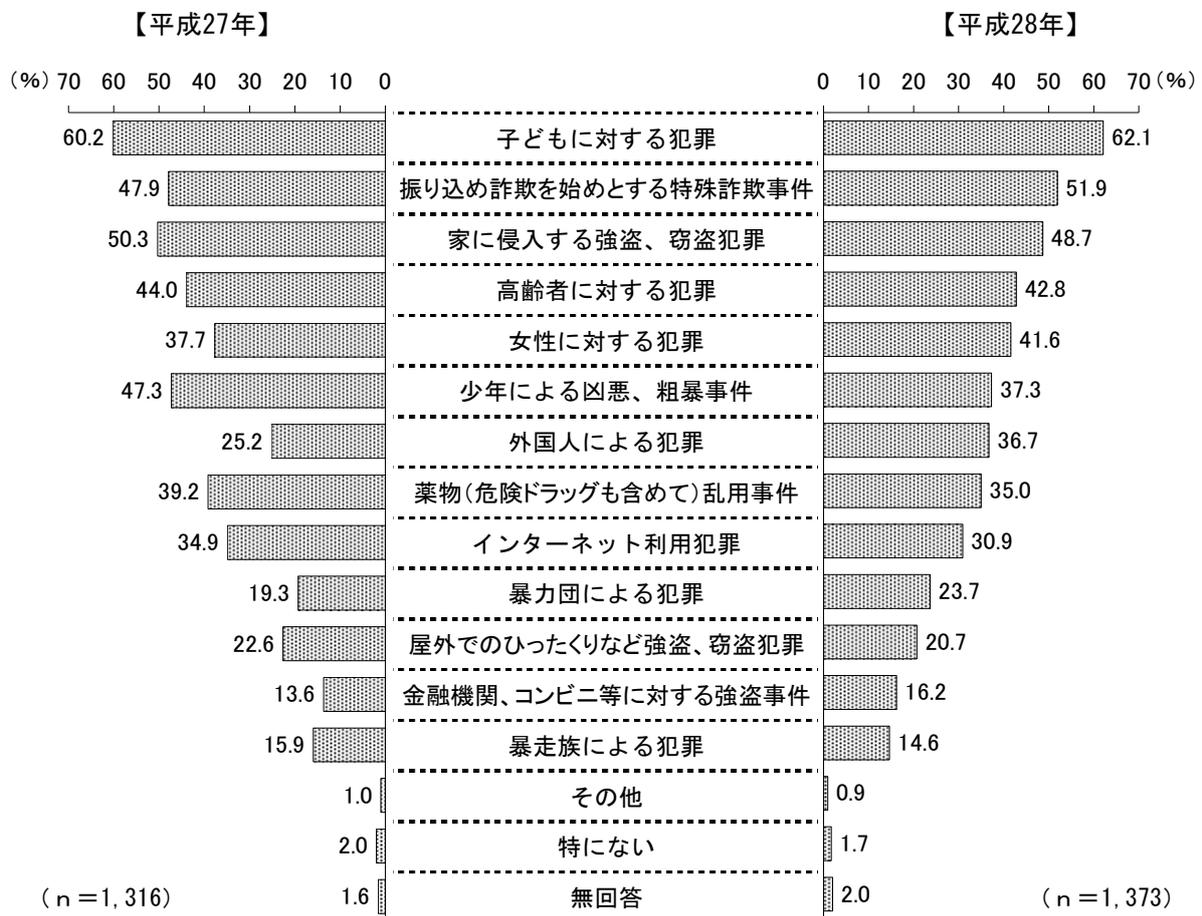
市町別で見ると、『良い』では〈町〉が58.3%と高くなっている。一方、『悪い』では〈宇都宮市〉が13.4%と高くなっている。

(2) 不安を感じる犯罪

問42 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,373]

1	子どもに対する犯罪	62.1%	8	暴力団による犯罪	23.7%
2	女性に対する犯罪	41.6	9	暴走族による犯罪	14.6
3	高齢者に対する犯罪	42.8	10	家に侵入する強盗、窃盗犯罪	48.7
4	振り込め詐欺を始めとする 特殊詐欺事件	51.9	11	屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪	20.7
5	金融機関、コンビニ等に対する 強盗事件	16.2	12	薬物(危険ドラッグも含めて)乱用事件	35.0
6	少年による凶悪、粗暴事件	37.3	13	インターネット利用犯罪	30.9
7	外国人による犯罪	36.7	14	その他	0.9
			15	特にない	1.7
				(無回答)	2.0

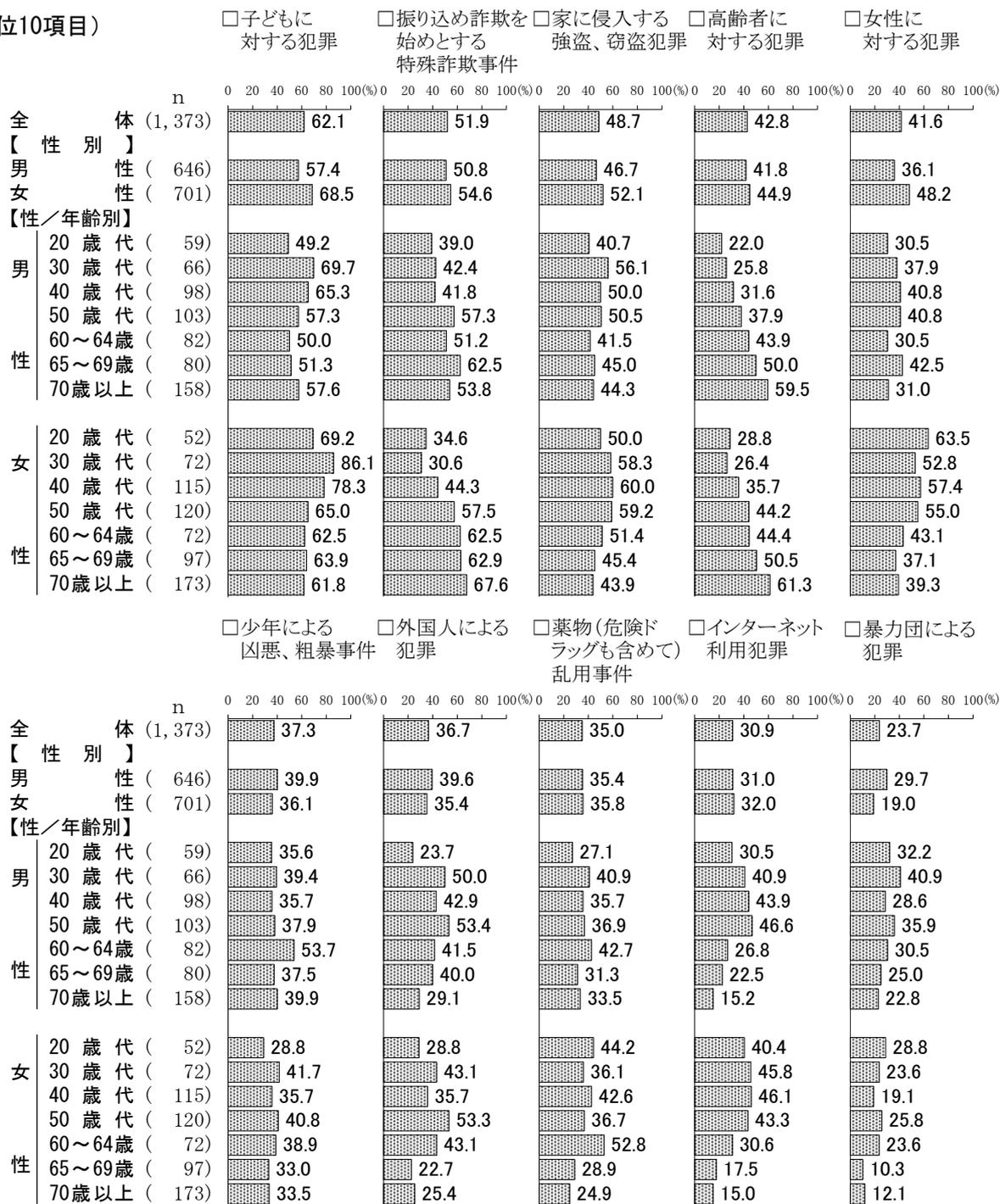


全体でみると、「子どもに対する犯罪」(62.1%)が6割を超えて最も高く、次いで「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」(51.9%)、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」(48.7%)、「高齢者に対する犯罪」(42.8%)、「女性に対する犯罪」(41.6%)の順となっている。

前回(平成27年)の調査結果と比較すると、「外国人による犯罪」が11.5ポイント増加している。一方、「少年による凶悪、粗暴事件」が10.0ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

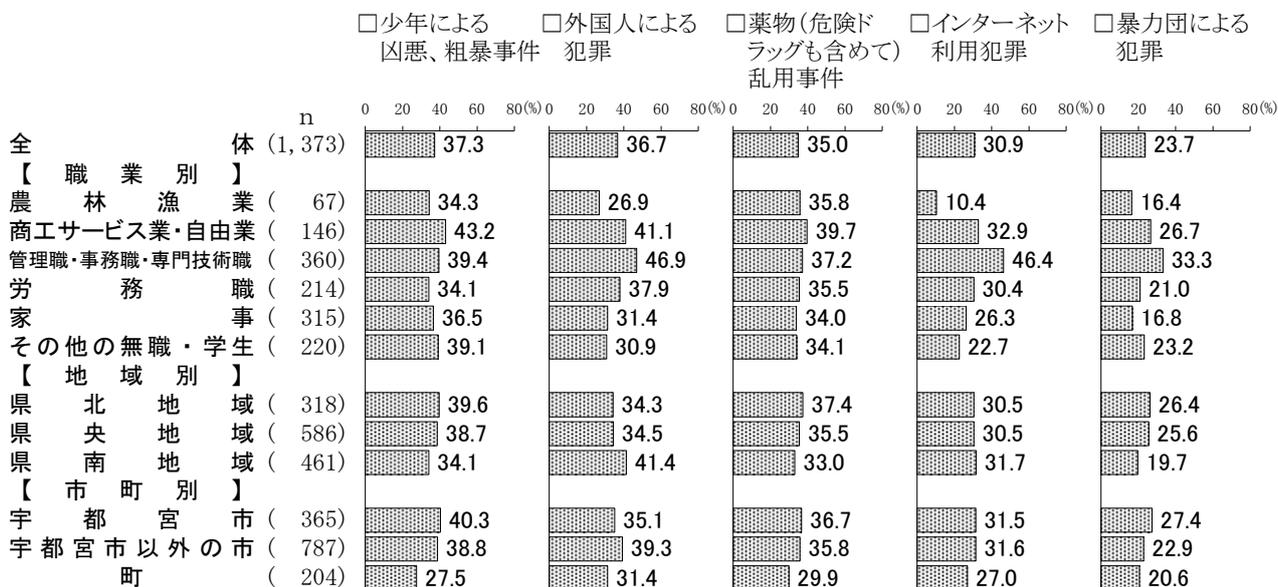
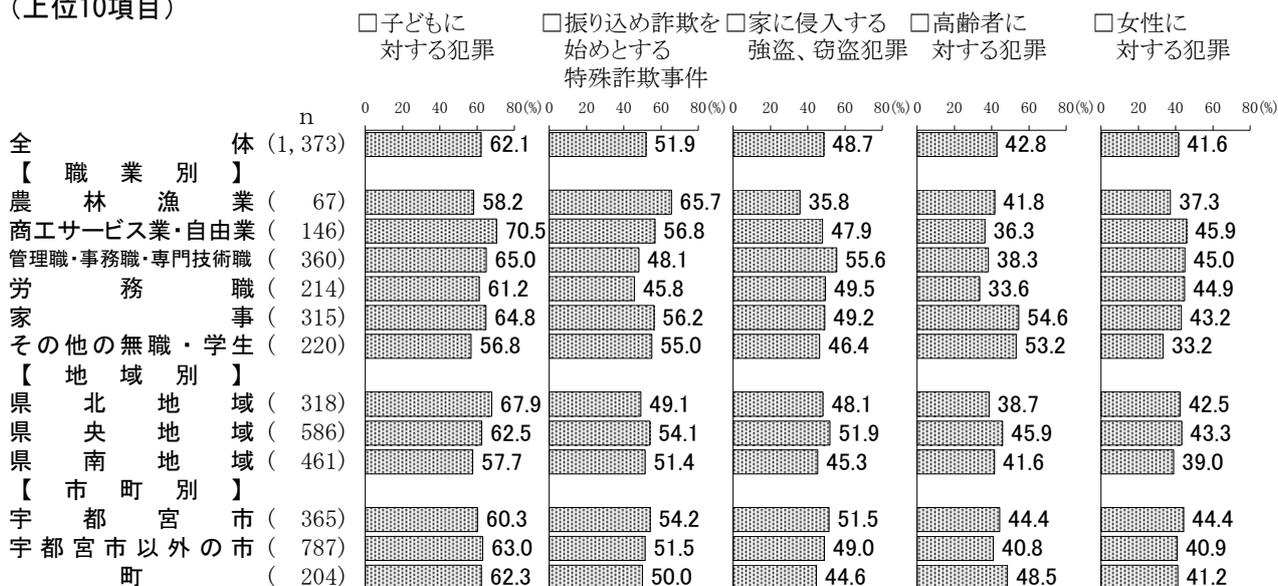


性別でみると、「女性に対する犯罪」では〈女性〉(48.2%)が〈男性〉(36.1%)より12.1ポイント高くなっている。「子どもに対する犯罪」では〈女性〉(68.5%)が〈男性〉(57.4%)より11.1ポイント高くなっている。「暴力団による犯罪」では〈男性〉(29.7%)が〈女性〉(19.0%)より10.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「子どもに対する犯罪」では〈女性30歳代〉が86.1%と高くなっている。「振り込め詐欺を始めた特殊詐欺事件」では〈女性70歳以上〉が67.6%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈女性70歳以上〉が61.3%、〈男性70歳以上〉が59.5%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈女性20歳代〉が63.5%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「子どもに対する犯罪」では〈商工サービス業・自由業〉が70.5%と高くなっている。「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」では〈農林漁業〉が65.7%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈家事〉が54.6%、〈その他の無職・学生〉が53.2%と高くなっている。「外国人による犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が46.9%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が46.4%と高くなっている。

地域別でみると、「子どもに対する犯罪」では〈県北地域〉が67.9%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈県央地域〉が45.9%と高くなっている。「外国人による犯罪」では〈県南地域〉が41.4%と高くなっている。

市町別でみると、「高齢者に対する犯罪」では〈町〉が48.5%と高くなっている。「少年による凶悪、粗暴事件」では〈宇都宮市〉が40.3%、〈宇都宮市以外の市〉が38.8%となっており、〈町〉(27.5%)に比べて高くなっている。「外国人による犯罪」では〈宇都宮市以外の市〉が39.3%と高くなっている。

(2-1) 子どもに対する犯罪に不安を感じる理由

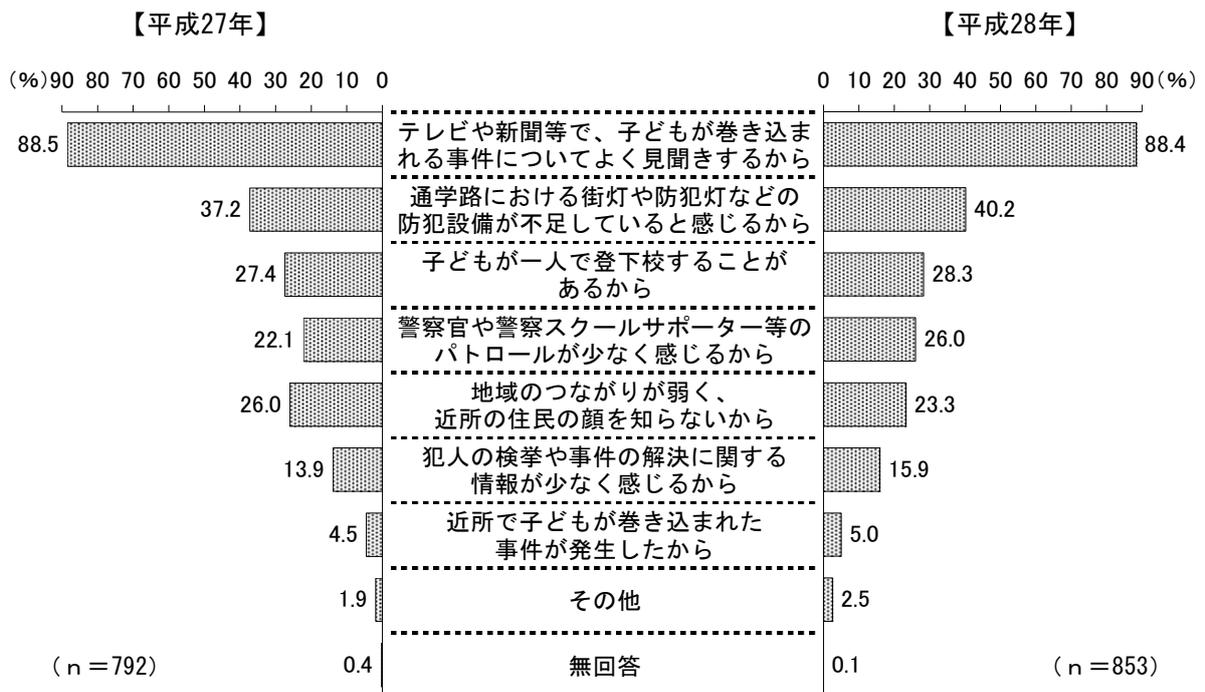
(問42で選択肢「子どもに対する犯罪」を選んだ方のみお答えください)

問42-1 あなたが、子どもに対する犯罪に不安を感じる理由は何ですか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=853]

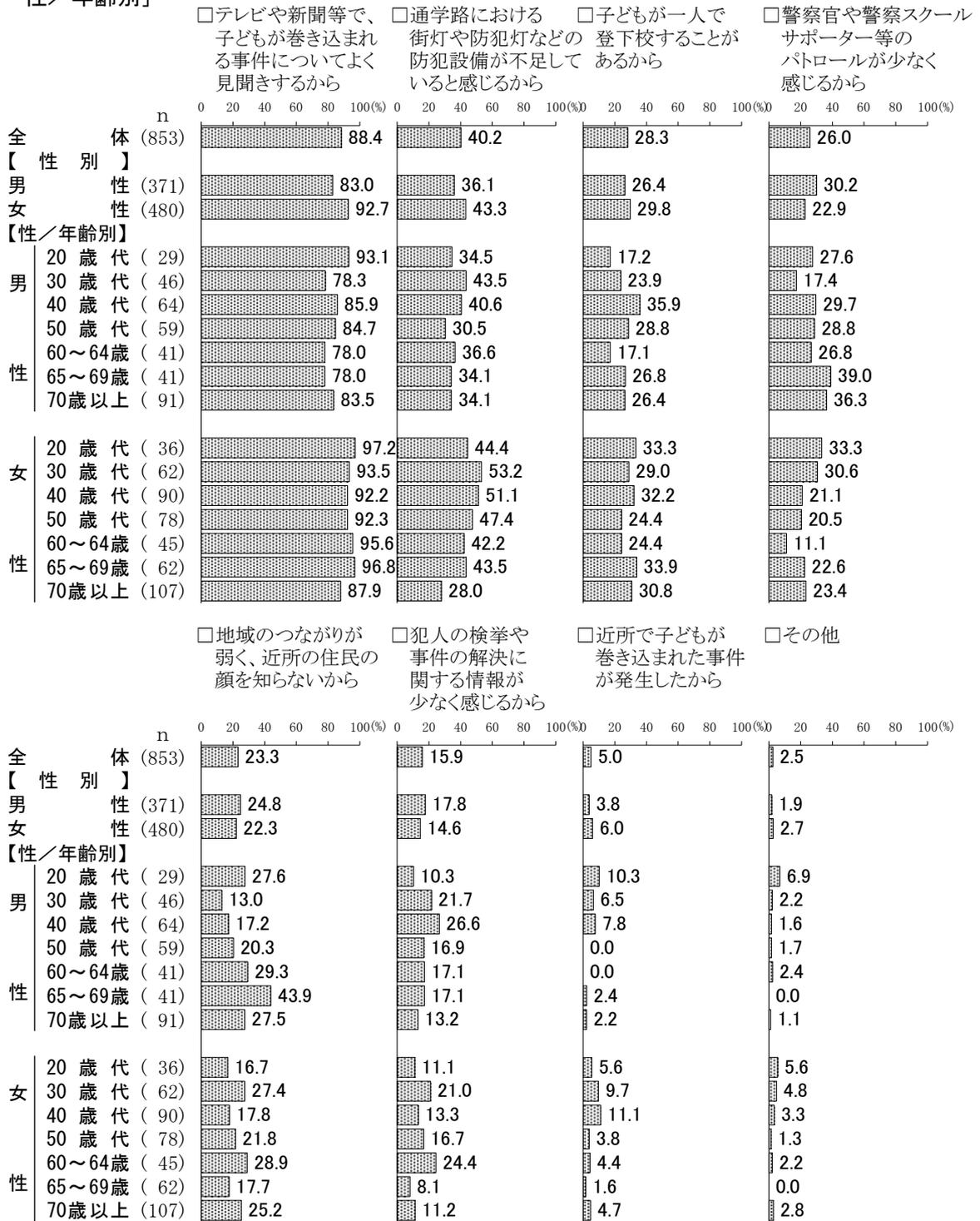
1	テレビや新聞等で、子どもが巻き込まれる事件についてよく見聞きするから	88.4%
2	通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから	40.2
3	子どもが一人で登下校することがあるから	28.3
4	地域のつながりが弱く、近所の住民の顔を知らないから	23.3
5	近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから	5.0
6	警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから	26.0
7	犯人の検挙や事件の解決に関する情報が少なく感じるから	15.9
8	その他	2.5
	(無回答)	0.1



全体で見ると、「テレビや新聞等で、子どもが巻き込まれる事件についてよく見聞きするから」(88.4%)が9割近くで最も高く、次いで「通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから」(40.2%)、「子どもが一人で登下校することがあるから」(28.3%)、「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」(26.0%)、「地域のつながりが弱く、近所の住民の顔を知らないから」(23.3%)の順となっている。

前回(平成27年)の調査結果と比較すると、「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」が3.9ポイント、「通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから」が3.0ポイント、それぞれ増加している。

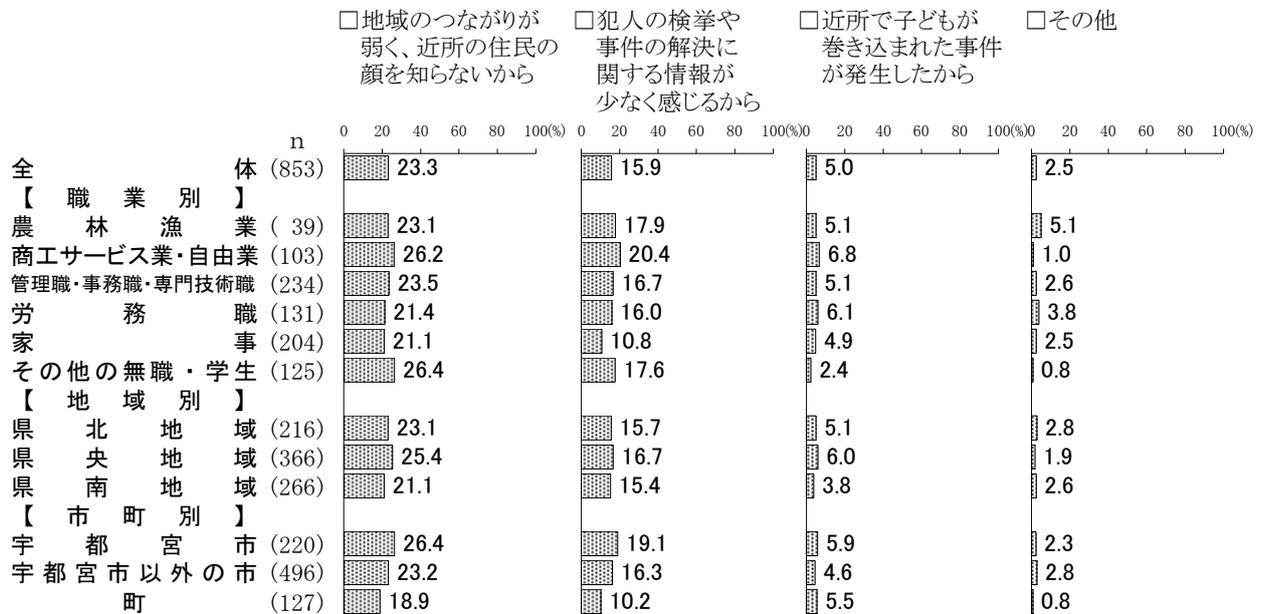
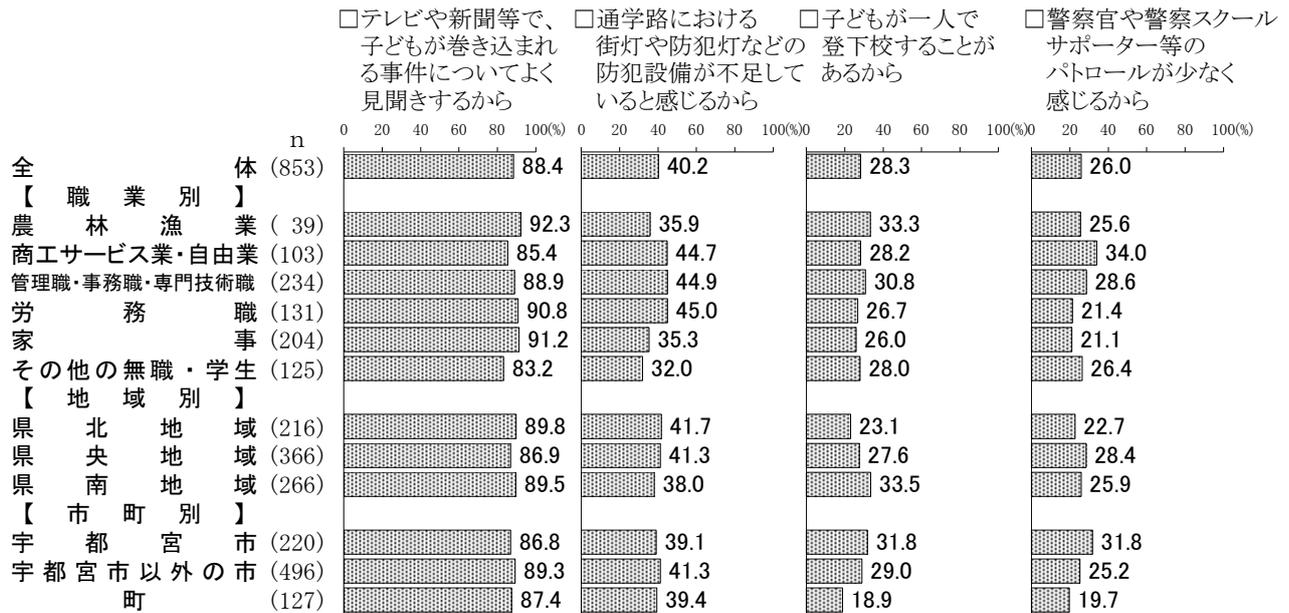
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「テレビや新聞等で、子どもが巻き込まれる事件についてよく見聞きするから」では〈女性〉(92.7%)が〈男性〉(83.0%)より9.7ポイント高くなっている。「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」では〈男性〉(30.2%)が〈女性〉(22.9%)より7.3ポイント高くなっている。「通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから」では〈女性〉(43.3%)が〈男性〉(36.1%)より7.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから」では〈女性30歳代〉が53.2%、〈女性40歳代〉が51.1%と高くなっている。「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」では〈男性65~69歳〉が39.0%と高くなっている。「地域のつながりが弱く、近所の住民の顔を知らないから」では〈男性65~69歳〉が43.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「通学路における街灯や防犯灯などの防犯設備が不足していると感じるから」では〈労務職〉が45.0%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が44.9%、〈商工サービス業・自由業〉が44.7%と高くなっている。

地域別でみると、「子どもが一人で登下校することがあるから」では〈県南地域〉が33.5%と高くなっている。「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」では〈県央地域〉が28.4%と高くなっている。

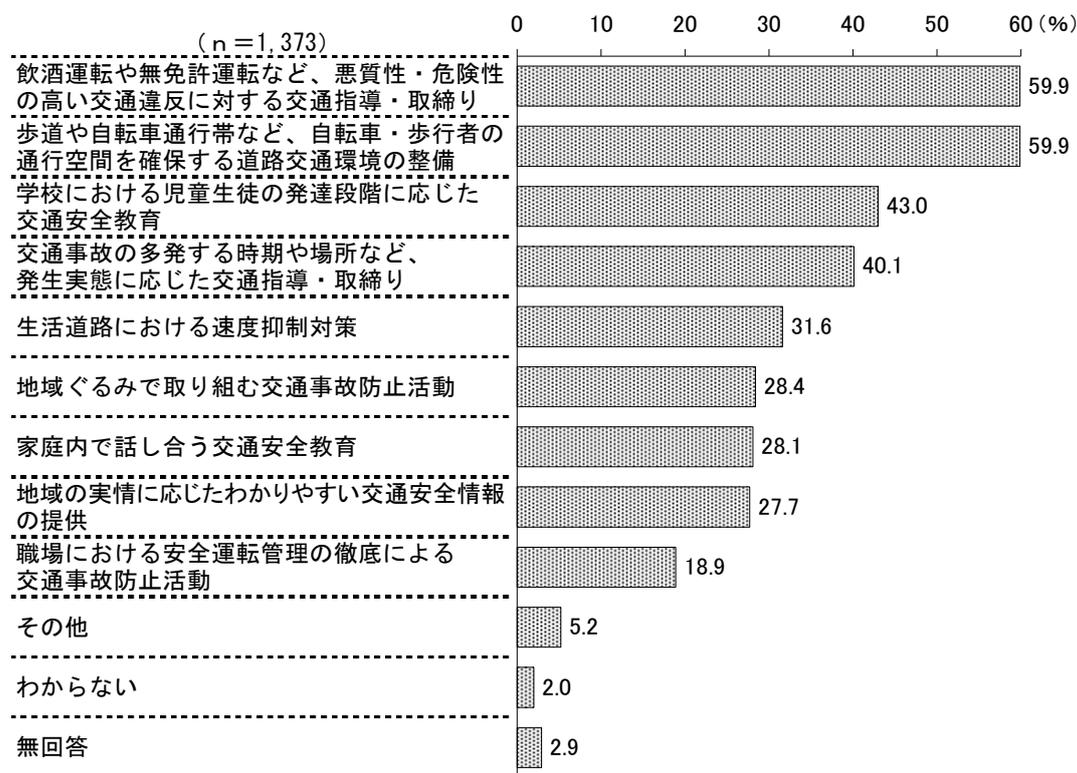
市町別でみると、「子どもが一人で登下校することがあるから」では〈宇都宮市〉が31.8%、〈宇都宮市以外の市〉が29.0%となっており、〈町〉(18.9%)に比べて高くなっている。「警察官や警察スクールサポーター等のパトロールが少なく感じるから」では〈宇都宮市〉が31.8%と高くなっている。「地域のつながりが弱く、近所の住民の顔を知らないから」では〈宇都宮市〉が26.4%と高くなっている。

(3) 交通事故を抑止するための対策

問43 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。
次の中からいくつでも選んでください。

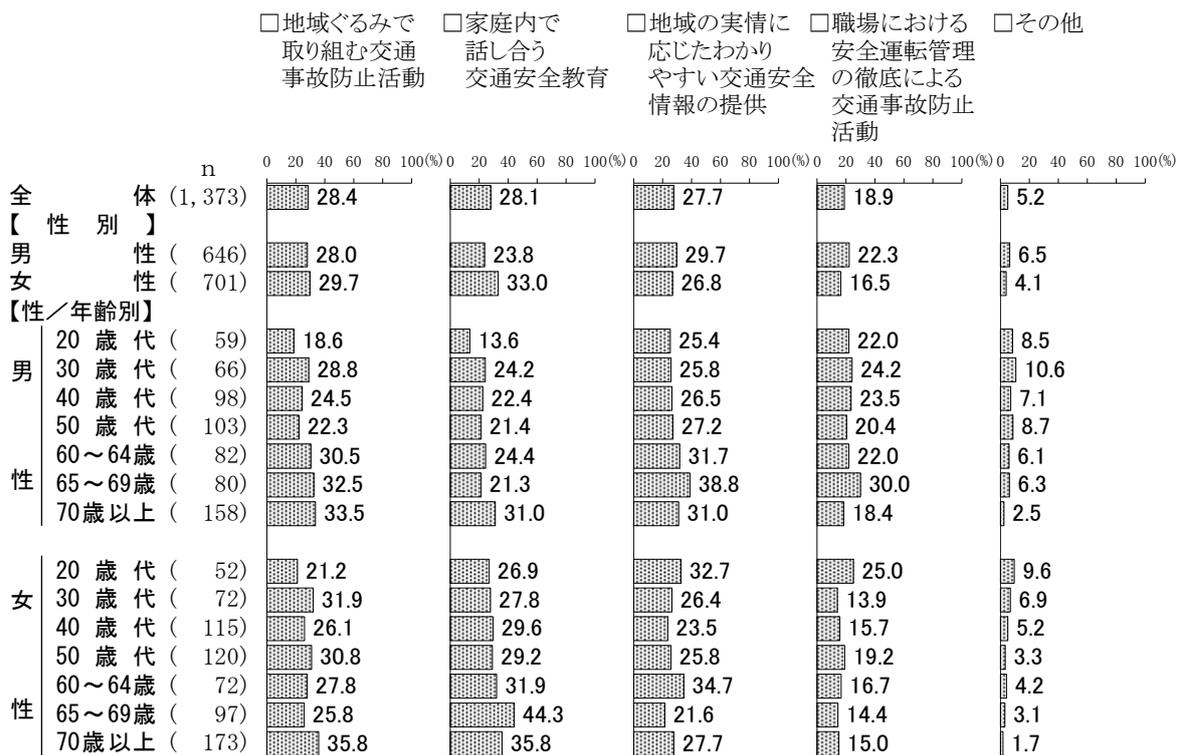
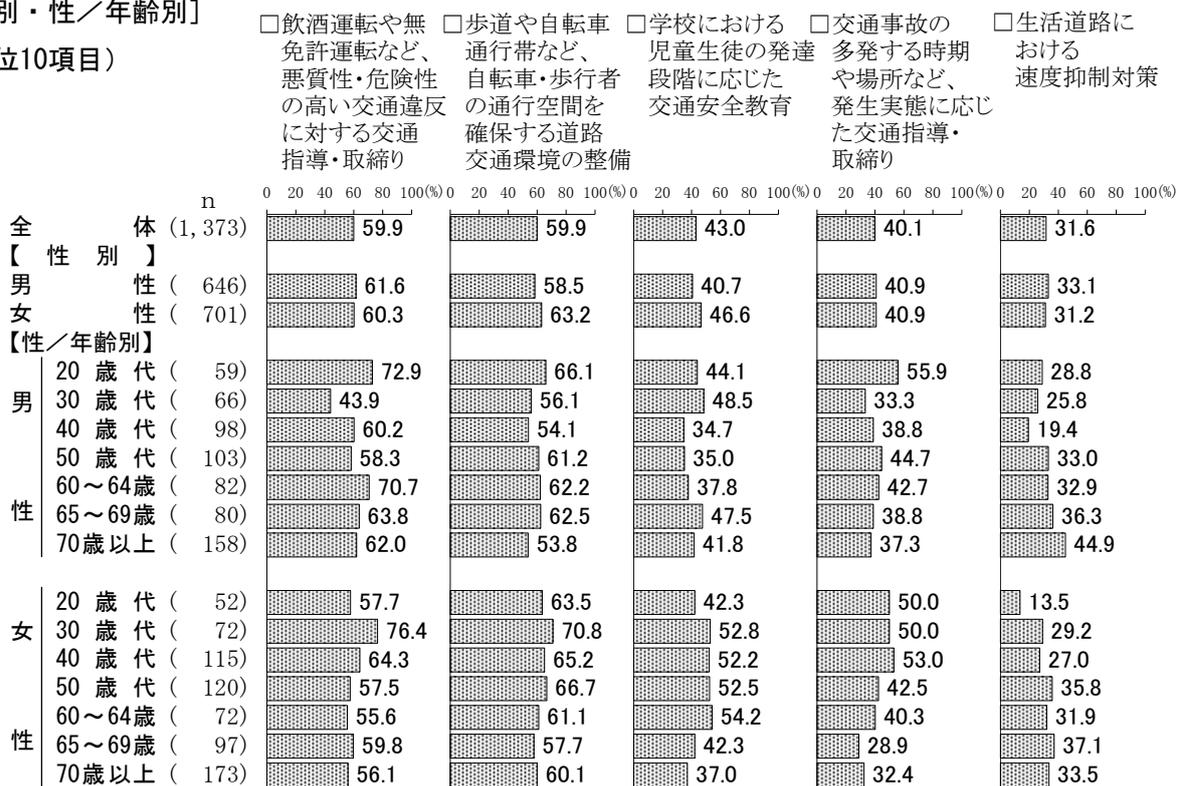
[n=1,373]

1	地域の実情に応じたわかりやすい交通安全情報の提供	27.7%
2	地域ぐるみで取り組む交通事故防止活動	28.4
3	家庭内で話し合う交通安全教育	28.1
4	学校における児童生徒の発達段階に応じた交通安全教育	43.0
5	職場における安全運転管理の徹底による交通事故防止活動	18.9
6	生活道路における速度抑制対策	31.6
7	飲酒運転や無免許運転など、悪質性・危険性の高い交通違反に対する交通指導・取締り	59.9
8	交通事故の多発する時期や場所など、発生実態に応じた交通指導・取締り	40.1
9	歩道や自転車通行帯など、自転車・歩行者の通行空間を確保する道路交通環境の整備	59.9
10	その他	5.2
11	わからない	2.0
	(無回答)	2.9



全体で見ると、「飲酒運転や無免許運転など、悪質性・危険性の高い交通違反に対する交通指導・取締り」(59.9%)と「歩道や自転車通行帯など、自転車・歩行者の通行空間を確保する道路交通環境の整備」(59.9%)がともに6割で高く、次いで「学校における児童生徒の発達段階に応じた交通安全教育」(43.0%)、「交通事故の多発する時期や場所など、発生実態に応じた交通指導・取締り」(40.1%)、「生活道路における速度抑制対策」(31.6%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

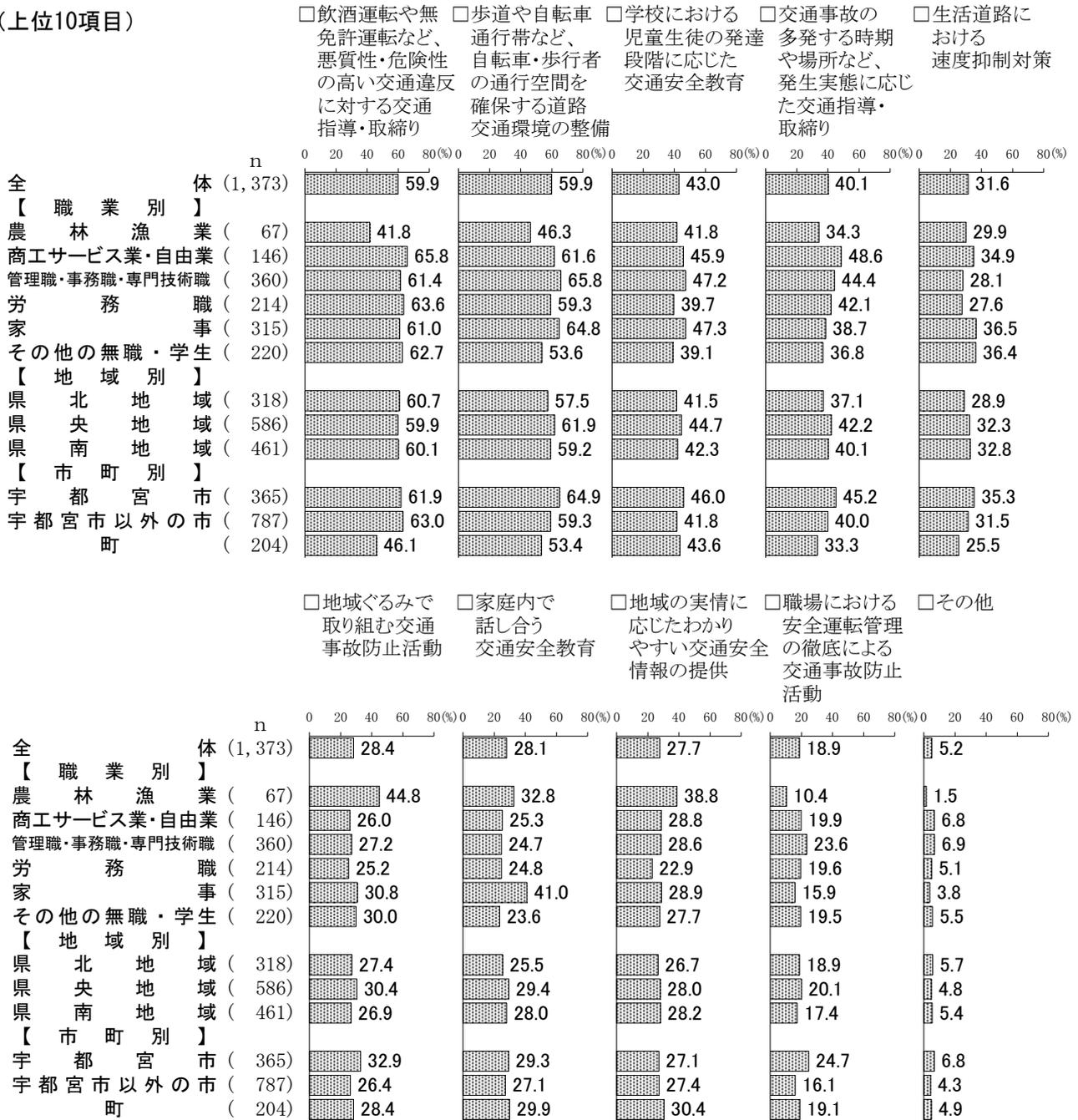


性別でみると、「家庭内で話し合う交通安全教育」では〈女性〉(33.0%)が〈男性〉(23.8%)より9.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「飲酒運転や無免許運転など、悪質性・危険性の高い交通違反に対する交通指導・取締り」では〈女性30歳代〉が76.4%と高くなっている。「歩道や自転車通行帯など、自転車・歩行者の通行空間を確保する道路交通環境の整備」では〈女性30歳代〉が70.8%と高くなっている。「交通事故の多発する時期や場所など、発生実態に応じた交通指導・取締り」では〈男性20歳代〉が55.9%と高くなっている。「生活道路における速度抑制対策」では〈男性70歳以上〉が44.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「交通事故の多発する時期や場所など、発生実態に応じた交通指導・取締り」では〈商工サービス業・自由業〉が48.6%と高くなっている。「地域ぐるみで取り組む交通事故防止活動」では〈農林漁業〉が44.8%と高くなっている。「家庭内で話し合う交通安全教育」では〈家事〉が41.0%と高くなっている。「地域の実情に応じたわかりやすい交通安全情報の提供」では〈農林漁業〉が38.8%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別で見ると、「飲酒運転や無免許運転など、悪質性・危険性の高い交通違反に対する交通指導・取締り」では〈宇都宮市以外の市〉が63.0%、〈宇都宮市〉が61.9%となっており、〈町〉(46.1%)に比べて高くなっている。「歩道や自転車通行帯など、自転車・歩行者の通行空間を確保する道路交通環境の整備」では〈宇都宮市〉が64.9%と高くなっている。「交通事故の多発する時期や場所など、発生実態に応じた交通指導・取締り」では〈宇都宮市〉が45.2%と高くなっている。